明治四十三年五月十五日發行
每月一回十五日發行
明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可

婦人新報

第百五十四五號

日本基督教婦人矯風會

105

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十四五號

目次

○社告
○社說
○文明の源泉　大隈伯爵
○酒と花
○キリスト教婦人界消息
○酒害の大要　醫學博士　大澤謙治君
○親は子供の人格を重すべし　キング博士
○婚姻觀念發展の曙光　辯護士　上島金太郎君
○如何にして例會に興味あるものとなすべきか　山室軍平君
○家庭欄
○習慣の話　文學士　上野陽一君
○物を貰ふ習慣　T、S
○青年部欄
○青年部會員　カンドレット愼子
○小兒欄
ダニエル、ウエブスターと栗鼠(リス)の話
○內外通信
本部、神戶、大阪、靜岡、吳、橫濱、京都、米國王府

社告

◉婦人新報定價（郵稅共）

一部（前金）　金六錢
六部（前金）　金三十五錢
十二部（前金）　金七十錢
（郵券代用一割增）

◉廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十三年五月十四日印刷
明治四十三年五月十五日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　橫倉ヒデ

發行所　東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地　婦人新報社

編輯及事務所　本鄉駒込蓬萊町六番地

No. 154/155.　MAY 1910

WOMANS HERALD

CONTENTS.

Foundation of the real civilization..................Count Okuma
Sake under cherry Trees.
News of the Christian Ladies.
Outlines of Pre. Osawa's "injury of Sake."
Reverance for the Children's personality.
A morning dawn for the concertion for marriage.
How shall we make meeting interesting?
Home Dept.
Y. Branch.
L. T. L. Branch.
W. C. T. U. News.
Headquaters, Kobe, Osaka, Shizuoka, Kure, Yokohama, Kyoto, Oakland.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百五十四、五號

（明治四十三年五月十五日發行）
（明治四十二年三月十二日第三種郵便物認可）

社告

婦人新報第百五十四號（四月分）は印刷に附さんとする際印刷所火災に罹り候爲め無據休刊し此に二號を合して大册となし發行いたす事に相成候間讀者諒し給はらん事を

編輯者　横倉ヒデ

社說

○文明の源泉

伯爵　大隈重信

左に掲ぐる所は婦風會慈善園遊會の折に伯爵が親しく來會者にお話になつたものであります、校閲を得ましたものではありません唯だ記憶のまゝを茲に記したのであります、

平和を愛し幸福を希ふのは人情の常でありませう、而して世界中の凡ての人が皆幸福なる人生を送りたいと想ふのは當然の事であります、今日茲に御來會になりました諸君は、必ず幸福なる家庭に平和なる生活をいたしてお出の事と存じます、が世には此の幸福と平和にあづかり得ない人々が澤山にあります、この不幸なる人々の生涯の裏面には、いつも同情いたすべき悲酸な事が伏在いたして居りますこの氣の毒な運命に弄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ばれて、終生浮ぶ瀬のない人々を救はんが爲に、今日の會主なる婦人矯風會が、慈愛館と云ふのを設けて哀れなる婦人を救濟し敎養いたして居られます、私は非常に此會の働に同情を持つて居ります、凡ての慈善事業の尤も發達いたして居る國は、尤も進んだ文明國です、眞正の文明は即ち人類互の幸福を全ふするものであります、歐米諸文明國が擧つて慈善事業を奬勵し實行して行くと云ふのは、畢竟人類の幸福平和を計る爲めなので、而して之等文明の中心たる慈善事業は、如何なる動機から起るかと云ふと即ち宗敎心が其源となつて居るのであります、言ひかふれば即ち神の愛に感じて人の不幸を救ひ度と云ふ念が起るのであります、此の矯風會なるものも即ち神の愛より出たる一つの働きであつて、世に尤も哀れなるは慈愛館に收養せられて居る樣な婦人でありませう、此の婦人を救ふためには矯風會は苦心して其經營にいそしまれて居る事は最早や二十年にもなると云ふ事であります、今日御來會の方々は今後益々此の種の事業に同情をせよて、益々盛大になるやう祈られん事を希望いたします、また進んでは斯の如き美はしい慈善事業が續々婦人方の手になつて、我國の人々が眞心の幸福を喜ぶやうになるやう御心懸なさる事を望みます、私はいつでも思ひますが、文明の源泉は何であるか文明とは何であるか之を要するに、文明の源泉は神の愛キリストの愛であつて、眞正の文明は人類の平和幸福をもたらす天使であると思ひます。

○酒と花

春の精である櫻の花の氣高い美はしい姿を眺めて、喜び樂しむ人は花見の客の中に幾人ありませうか、靜かに花の下を徜徉して、眞の美を探りたいと思ふ實に花を喜び自然を愛する人は、全く醉客に妨またげられて其樂を全く打ち破られてしまひます、花の咲き亂れて居る處には、きつと酒が止めどもなく流れて居るのであります、花見とは人の手前を飾る口實であつて、實は其花を利用して自分の慾望を滿たして居るので、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花こそ全く氣の毒なものであります、墨堤の花の下には俗な氣が漂よふて居るから今年こそはと思つて、一日心行くばかり、櫻花の下に遊ばうと思つて小金井に參りました、わざと休日を避けて火曜と云ふ日の午後に出掛けました、自分の望は全く空しくなりました、細い流を隔てゝ兩岸に咲き匂ふて居る櫻の花はまことに美はしくありました、花の色も葉の繁り合ふ具合もそれ〴〵違つた、ことに古木が多いので、其眺は何とも形容が出來ない位でしたが、こゝにもかしこにも、人と云ふ人は皆酒に醉て、まるで狂氣の沙汰であります、都から離れて居る處とて、警官の取締が行き屆かないやうで、若い娘などが打ちつれて、行ける處ではありません、醉つぶれて死人同樣に道の眞中に倒れて居るものもありました、折角人の眼を樂しませ心を喜ばさうとて造られた此の櫻花が却て、人を死に近かづけ媒をなして居るやうなものであります、日本魂を代表する此櫻の神聖に對いしても實に面目次第もない事であります、花時の取締が今一層親切にして欲しいもので、全く花の下に風紀を亂すやうな事がないやうに、充分の保護が必要であると思ひます、而して之れはたゞに都ばかりの花時のみには限りません、社會一般の人が樂しむ處には、必ず酒が害毒を流して善良なる人を苦しめて行くのであります。

○基督教婦人界の消息

畏くも五月廿八日は、我が國母陛下の御降誕ましませし國民一般の祝すべき、大吉日であります、靜かに民草を守り國の礎をかためさせ給ふ、御鴻恩と御聖德を頌ひ、倘ほ皇天恩寵の此國の上に、永に豐かならん事を祈る爲めに、私共神を信ずる婦人は、一所に會して其佳節を覺える事にいたして居ります、地球節には汎く戸毎に日章旗の閃めくことゝ信じて今より樂しみて其日を待ち望んで居ります。

△婦人大學傳道　いよ〳〵大學傳道の日も旬日に迫りましたので、市内至る處、其準備に忙殺されて居るやうに見受けられます、大體の運動は、各區々々に於

て、會員それ〴〵手を分けて、戸毎に訪問をなし聖書を配布し、また連日連夜各所にて、説敎會を開催いたす事であります、神の御手が凡てのもの丶上にかはらん事を切に祈ります。

△婦人京濱祈禱會は來る七日横濱にて開催の筈にてそれ〴〵準備中であります。

大澤醫學博士酒害論の摘要

●(第一項)酒の十惡

博士は自身が多年間飲酒したる實驗と、自分の專攻上から醫學的に酒類を研究した結果、酒は到底吾人々類の幸福と相容る事の出來ない恐る可き害毒を含み、弊害を來たす可き者と確信して、酒の十惡を列擧せり、

(一)、酒は智識を殺いで理解力を喪はしむる事

(二)、酒は德義を減却して粗暴不德の行爲をなさしむる事

(三)、酒は個々の體質を惡化し、疾病に罹り易くし、且一旦罹りたる疾病を治癒し難くする事、就中肺病、梅毒、淋疾、虎烈剌、窒扶斯、赤痢、黑死病など云ふ傳染病に對する感受性を增加し、且此等の傳染病に對する免疫性を減却する事

(四)、酒は壽命を短縮する事

(五)、酒は生殖の力を衰へさせ、產兒の數を減ずる事

(六)、酒は惡性を子孫に傳へ、人種を劣等ならしむる事

(七)、酒は內に在りて家政を紊亂し、外に在りては風俗を壞亂する事

(八)、酒は他人に危害を加へ、自殺を促がし、其他災害を釀す事

(九)、酒は病院養育院、癲狂院、監獄等を繁昌ならしめて、國家の費途を增多ならしむる事

(十)、酒は國民をして殖民に不適當ならしめ、且軍隊の兵力を薄弱ならしめ、國家を危からしめ、且概括的に國家社會人類を害毒する事

博士曰く從來酒害を唱ふるは、重に宗敎家、敎育家にして、酒は個人の道德を破り社會の風俗を亂すが故

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に、飲用すべからずと戒むるが通例の處、中等以上の輩は之を馬耳東風に聞流し、自分達には夫等の懸念なし、酒は俗念を洗ひ感想を高雅ならしむるなど丶稱美する者あれども、今日世界の醫學上より酒害を研究する時は、吾輩が醫學者たる職責上、改めて酒の害毒を根本的に説明して、一般國民に警告せざるを得ない、

●●（第二項）酒を用ひぬ一般的利益

博士は那翁の露國征伐や、「クレミヤ」の戰役や、將た又米國南北戰爭、若くは北極探險、或は職工團體等に於ける例證を引き、寒熱共に飲酒は人體に有害にして、其反對に禁酒は有利なりとし、又同氏は富士登山の節、若くは遊獵等の實驗に於て、禁酒の利益ある事を發見せり云々。

●●（第三項）酒害と子孫との關係

博士曰く結婚上何故、酒が大問題なるかと云ふに、結婚の大目的たる樂き家庭を作る事と、立派な子孫を擧る事の二大要件が、酒の爲に滅茶々々にされるからである、夫れは佛人モーレル氏の所説に據れば、飲酒家の子は多少身體精神に變調を來たし、成長して大酒家となる、此の二代目から出來た子は矢張り大酒家であつて、腦の麻痺を起して怒り易くなる、此の三代目の子は酒害は一段激甚になり、癲癇精神病等を起し、自殺他殺を企て、若くは强盜を働く者あり、此の四代目からは最早や生殖力衰弱して、出生者ありても白痴に非ざれば瘋癲となる如く、斯く酒害は子孫を次第に惡化する云々。

博士は又片山博士の説を揭げて、アルコールが胚種の蛋白質を犯すからして、夫れから出來た子供は先天的酒害を蒙つて居る、此の飲酒は毎日酒に浸されて居る者は勿論縦令へ稀れに飲酒する者でも、大なる害毒を子孫に及ぼすことがある。

博士は尚ほ片山博士の説を引きて、酒毒が子孫に遺傳し、腦病を發して十分の修業が出來ない位ならまだしも、此の害毒が倫理とか道徳とかいふ、高尚なる感情に欠點を生じ、不倫惡德、即ち世に謂ふ不良少年を出す事往々有之、而して此の不良少年が貧困者よりも、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

却て上流の家庭に生長する子弟に多きは、畢竟するに其親が酒池肉林の豪遊に耽るが爲にして、其影響は獨り、其家庭に止まらずして社會の厄介物となる云々、博士は之を證明するに歐洲の統計を以て詳細に説明せり、又此他呉博士の管理に屬する巣鴨病院に於ける精神病者中酒害の遺傳より來れる實に恐るべき者、即ち生來强情であつて、父母其他上長に從はずして、爭鬪を好み、虚言を吐き、竊盜を働き、放火殺人等の悖德病を一々例證を揭げて説明せり。

（第五項）飲酒は家庭不和合の種

伯林の酒害防遏會に於ける統計報告中最も多數であるのは、家政紊亂と子兒を孤兒院と棄兒救養所へ收容したる二項である、扨て其由來する所は如何にと云ふに、先づ飲酒は人を懶惰にするから、隨つて錢が取れなくなる、其結果女房の苦情と爲り、夫婦喧嘩を起すのである、其れから夫は益々自棄酒を飲み、遂に一家離散で、子供は養育院に送られ、自分は政府の厄介となる、固より是れは下層社會の狀態である。然し上流と雖ども統計などにこそ顯はれないが、飲酒に由て家庭の悲慘を演ずるは、却て下流よりも甚しい事がある、此他片山博士が每度演説せらるゝ内に、酒精中毒は人をして嫉妬心を起し、邪推の念を深からしめ、而して克己心を消磨せしむ、此等の二三件は十分に家庭紊亂の素因となる事が出來る。

（第六項）酒と體育との關係

此の問題に就ては醫學上專門の廉より、博士は自己及片山其他の諸博士の學説を綜合して、各種の方面より講述せられたる内、其項目の次第は左の如し、

〔酒と胃腸病〕〔酒と呼吸器病〕〔酒と心臟病〕〔酒と腦病〕〔酒と食道癌胃癌〕〔酒と肝臟萎縮〕〔酒と腎臟の變質〕〔酒と腦溢血〕〔酒と視力の減却〕〔酒と疫病の感受性〕〔酒と精神作用の關係〕〔酒と頓死〕〔酒客譫妄〕〔中毒の狀態〕〔病的酩酊〕〔精神作用の遲鈍〕〔心理上の障礙〕〔不謹愼なる生理的行動〕

の如き、到底枚擧するに遑あらず而して之が詳細は博士の酒害論に列擧してあるが、之を一讀する者は誰れ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も滿身戰慄の感なくんば非ず、就中精神作用の一點に至りては、縱令へ少量の飲酒たりとも不利益なり、と博士は斷言せられたり、要するに全身到る處として、飲酒が害毒を與へざる事なきは、博士の所說に於て察知するに餘りあるなり。

（第七項）酒類の危害

博士は獨逸の調査に據りて自殺及び遭難者の多きは飲酒に原因する事を證明せる上、酒害と壽命との關係に論及し、酒類の釀造販賣者、旅店、飲食店の如き、日常酒類を取扱ふて居る者の壽命は普通の人に比して短き事を、是れ亦獨米二國の統計に由りて確實なる例證を與へ、且此他飲酒は生產力を減殺し、及び勤儉の大敵なる事をも槪說せり。

（第八項）飲酒家の反省

と題して、博士は酒害の身體精神に及ぼす影響を再說して、尙ほ一層世人の警戒を深からしめん事を勉めたる其要に曰く、「酒精の作用には急性中毒と慢性中毒の二種があつて、急性は酩酊の狀態より追々進行すれば、思慮の敏捷を缺き、注意周到を失ひ、理解力は遲滯し、記憶力は減少する等、總じて深思熟考するなどといふ事は出來ず、又一方には自負尊大となつて、妄りに人を罵詈讒謗するのである、尙ほ其度を進むると、今度は美的道德的觀念次第に消失して、遂に破廉恥罪を行ふに至る、夫れより慢性中毒の狀態は如何にといへば、鼻、咽喉、胃腸、若くは中耳の加答兒を起し、肝臟萎縮硬變症に陷り、皮膚には疹を發し疔を生じ、血行器は脈管に往々動脈瘤を生じ、心臟には脂肪變質を來たし、腦の血管擴張して終に破裂して、卒中となる、肝臟の血行澁滯して、痔疾や水腫を發し、腎臟は炎症に罹りて蛋白尿を洩す、呼吸器は喉頭加答兒の爲に音聲は嗄れ、慢性の氣管枝炎を發し、又肺結核に罹り易く、其他五官に在ては嗅味の感覺や、視力聽力を減却するなど、飲酒家が深夜靜思、既往現在に就て其心身に受けたる酒の影響を顧念するならば、一々其肺腑を衝く計りであらう、希くは三省せられよ。

（第九項）酒の定量

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

博士は此點に於て學理上より中毒に罹るべき飲酒の分量を明示し、獨逸人と日本人の飲量を比較し、日人は獨人程に豪飲家に非ざるも、其酒量に至りては比較的些少の酒精を飲用して慢性中毒に罹るものとす、是れは日人と獨人が遺傳の素質に於て異なる所以である

（第十項）酒と國家經濟との關係

（第十一項）禁酒の利益

博士は島田三郎氏の『禁酒は稅源を擴む』の大要を掲げ、次で飲酒の爲に國民が病氣に罹り災害を招きて生產力を減ずる金高や、飲酒の爲に犯罪が增加したりして、監獄、養育院、感化院の如き機關增設の爲に、國家の損耗する金高や、又禁酒の結果國民が健康になり、壽命を延ばし、人口が增殖して生產力が增大する等の積極消極の利益を算入する時は、國家の受く可き利益は莫大なりと稱すべきである。

夫れから日本酒が惡ければ葡萄酒若くは麥酒は如何がと尋ねる人が往々あるが、害を爲すのは酒精であるから、凡そ酒精を含んで居る飲料は其何種たるを問はず、害を爲すに至りては同一である、固より酒精の稀薄なるは比較的害は少ないが、然し酒は一滴でも害になると心得て力めて飲まぬ樣にしなければ成らない、

（第十二項）酒の豫防法（第十三項）酒に對する國民思想の革命（第十四項）酒に對する醫者の責任（第十五項）酒に對する敎師の責任（第十六項）學童に酒害を敎ゆる方法（第十七項）酒に代る飲料（第十八項）節酒と禁酒（第十九項）酒客治療法（第二十項）飲酒は良緣の大妨害

大酒家は粗暴不德の行爲を妻女に加ふる者多く、本人自身は疾病に罹り易く、一旦罹ると容易に治らず、就中傳染病に罹り易いから、大酒家は先づ短命を覺悟しなければ成らない、加ふるに其家政は紊亂する者と是亦豫期しなければならない、次ぎに過度の飲酒は生殖力を減ずるのであるから、子を得る望みは至て乏く、假令ば懷妊して見た所で、產れる其子は先づ惡質劣等の者と諦らめねば成らない、要するに大酒家を良人として其間に幸福なる家庭を作ると云ふ事は、僥倖なる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

場合を除くの外は迚も覺束ないと思ふがよい云々（畢）

○親は其子の人格を重せざる可からず

オベリン大學總長　キング博士

左に掲げる處は青年會館に於けるキング博士が人格の尊重に付きて講演せられし一部であります

私共が社會の一員として、立派な貴い生活をいたすには、どうしても自分の人格を重じ、他人の人格を尊ばなければなりません、私共が他人の人格の感化を受けるやうに、また、自分の人格が他人に大なる感化を與ふる事を記憶せねばなりません、他人の人格を認めず、他人の自由に立ち入つて自分の思ふまゝを擧動とするのは、全く自分の人格を沒却して、壓制的な感化を與へるのであつて、決して良い結果を得る事がありません、從つて不愉快な現象が起つて來るのであります、不注意なる親は其親權によつて、子弟を自分の思ふまゝに服させようといたします、また其子弟の人格を認めないで、無暗に叱責して、親の威光が輝いたと思ひますが、之れは大なる誤解であります、私が曾つて同僚の家を訪問いたした節に、私の友人は私の面前で其息子をいたく叱り付けました、私は實につらくて穴があつたらばと思ひました、其子兒は果して其父の言葉に從つたでせうか、其結果は決してよくなかつたのであります、子兒には相當な考がある、他人の面前で自分の人格をさん〴〵踏み付けられて非常に憤慨いたした樣子でありました、此の樣に親が其子弟の人格を重せないならば、強い子は反抗心を起して始末にをへない人になります、また弱い子は失望して全く自分の人格を賤しみ意氣地のない人になりませう、これは親子の關係ばかりではありません、教師と生徒との間に於て、兄弟の間に於てまた友人間に於て同じ事であります、凡て人の感化と云ふものは皆お互同志が互の人格を重んじてはじめて起るものであつて、決して強迫や壓制で感

化を與へ得べきものではありません、善良なる子兒を敎育する秘決の一つは其子供の人格を重ずる事であると斷言いたします、然れば用意周到なる人が其子供に對していつも左の覺悟をいだいて居らねばなりません即ち子供にどんなさしさわりがあらうとも自分は子供に勝たうと云ふのではなくて、自分には如何に苦痛であらうとも子供が自分自身に勝つやうに父なる自分が助けてやらねばならぬと云ふ事であります、此の如き心懸が人の親たるものになければなりません親が子供に自分自身の人格を認め重じ得るやうに助けてやらなくて、誰が身體に於て精神に於て未だ十分に發育しない弱いものを助け保護いたしませう、而して親が其子の人格を認めて重じて一種の尊敬を其子供に拂ふならば子供は知らず／＼己の人格の偉大である事を知つて全く意志の鞏固なしかも知情の發達した人になり得るのであります子供の人格を重んずる爲には親はいくらかの犠牲を覺悟せなければなりません、犠牲の行爲は實に偉大であるが自分の心を喜ばす事なくして全く人の滿足の爲になす其犠牲はより以上偉大であるとシャロートヤング氏が申されましたが、親に此の美はしい覺悟がありましたならば、其子供もまた其大なる感化に浴して、全く偉大なる人格の人となりませう、キリストでさへも我等の心の戸をお叩きになつて、開かれればお入りになりますが、決して無斷で强てお這入にはなりません況て子供の自由を束縛して、其人格を無視して親の大なる感化を與へようと思ふのは大なる間違事が出來ませうか（文責記者にあり）

婚姻觀念發展の曙光

（有妻姦 Ladaitere du mari に對する道德上社會上及び比較法制上の批判）

辯護士　上畠益三郎

（一）緒言

熱心なる宗敎家の手に依りて年々議會に提出せられ而して年々哄笑冷罵の中に否決せらるゝ有妻姦の制裁に關する請願は本年亦もや例を追ふて提出せられたり、

該請願の趣旨は妻以外の婦人に通じたる妻と同視し齊しく姦通行爲として民事上及刑事上の制裁を加へんとするにあり、思ふに今後十數日間の内に此請願が哄笑冷罵の中に否決し去らるゝこと又必ず例年の通りなるべし、然れども凡そ事物の進歩發達は事後に之を考ふれば其經路歴然として之を掌に指すべしと雖も其事前に於ては常に甚だ迂遠にして到底實現す可からざる夢幻の如く看做さるゝは歴史の繰返して證明する所なり五十年前に於て若しも郡縣論を唱道し立憲制度を主張する者ありしならば結髪帶刀の士孰れか呵々として大笑し其精神の狂亂せるに疑を夾む者あらんや故に耳目の慣熟する所に偏して將來の事物を永劫不易の如く思惟するは是れ社會の乗備なり、智者識者獨り能く機を見て微を知り大勢の日夜に潜推默移するを達觀す、然らば則ち有妻姦に關する此請願に付ても漫然之を笑罵の中に埋却して復た夫の將來の趨勢に沈思熟考する所なきは蓋し甚だ策を得たるものと謂ふべからず、是れ吾曹が敢て譾劣を顧みず茲に此小論文を草して謹んで大方識者の敎を乞はんとする所以なり。

（二）道德上の觀察

人類社會一切の事物は悉く進化律に支配せらるゝが故に吾人の婚姻觀念も亦固より時代と共に推移するを免れず、太古は掠略に成り中世を賣買贈與に成り近代に至つて則ち男女双方の自由なる承諾に成る而して之と同時に雜婚より定婚となり一夫數婦の制より遂に初めて一夫一婦の制となれり、此一夫一婦の制に於ても明治の初年に至るまでは妻の外に妾なる者を公認し之に二等親なる一種の身分關係を生ぜしめたる事ありき倫理の變遷此の如し、是れ猶ほ吾人の冬は裘し夏は褐するが若く各々其時代に於ける人類共存の必要なる理法に適合するものなり、故に一夫數婦必ずしも非ならず二等親制度又強ち不可なりとせず、其今に慣れて古を謗るは古に泥みて今を笑ふに同じ兩者皆其肯綮を失へり然れども時勢將に一歩を轉じて道德の水準漸く其計度を變せんとするに方りて獨り依然として其舊態を頑守し以て展開すべき新局面に反抗せんとする者あらば

是れ實に時多にして而して猶ほ渇する也吾曾須らく之に告ぐるに四時の序進化の律を以て懲ろに其謬りを規さざるべからざるなり。

現代に於ては夫が妻以外の婦人に通ずることは固より之を善行として稱賛せざるも又敢て之を惡事として非難することとなし、然ども妾なる身分が舊刑法の實施と共に廢止せられてより夫と妻以外の女子との私通關係は一切法の公認する所とならず以て大に婚姻に對する尊敬の度を增進せしめたるは著しき事實なり、又今日紳士紳商と名げらるゝ階級中に日夜挾斜の巷に流連して訪花折柳を之れ事とする人士甚だ多きには相違なけれども是れ畢竟博徒が賭博を業とし掏摸が盜奪を職とすると同じく共に是れ社會の一局部の腐敗を證明するに止まり未だ以て現代に於ける人心全般の趨勢と爲すに足らず、所謂人心全般の趨勢に於ては教育ある人士深く修身齊家の聖訓に顧念して漸次意を家庭の圓滿と純潔とに用ひ夫の蓄妾の風の如きは寧ろ日を追ふて減退する傾向を呈せり、往時は家門繁榮の徽章として得得人に誇耀せし所謂妾宅なるものも今日は人々耻ぢて之を口にせず却て之が掩蔽に努むるに至れり、是れ全く男子自制心の向上と女子教育發展の效果とに因るものにして確かに國民道德觀念の進歩を證明すべき一現象たり、且つ甚だ恐多きことながら我至仁なる　皇室には深く時勢の變遷に留意して夙に一夫一婦の最も嚴肅なる模範を垂させられ以て道德過度の危機に際して國民の率由すべき標準をば示し給へり、東宮殿下を初とし各皇族殿下に至るまで其御家庭の淸く美はしきこと恰も巖間に湧出づる淸水の如く以て近來各宮には何れも妃殿下の御慶事頻々にして大に麟趾振々の歡喜を國民に頒ち給ふの瑞祥を致せり、天日嗣の我皇室が二千五百年間常に統治上及榮譽上に於て國民欽仰崇慕の焦點たりしのみならず又國民の翹望せる理想的倫理の中心として率先身を以て之れが典型とならせらるゝは其巍々たる盛德寔に今古東西に其儔を見ざる所、宜なり一系萬世愈よ久ふして而して愈よ安らけきや、事態此の如し、茂りに茂れる大八洲の民艸誰れか仰ぎ視

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て聖旨の在る所を感戴し夙夜以て其風に靡かんことを思はざらめ其一點より、考察するも國民の婚姻觀念漸く一轉せんとして今や正に其經過中に在り、今日此種の請願を見且つ一二の新聞紙稍や眞面目に之れが報道を爲す者あるに至りたるは是れ實に時代思想の趨く所を示せるもの經世の士豈に其れ輕々に看過すべけんや、吾曹が道德上より有妻姦問題の解決せらるべき時期が必ずしも遠き未來に非ざる可きことを確信する所は即ち此に在り

（三）社會上の觀念

富に對する貧、資本に對する勞働は泰西到る處に社會問題に華を開けり我日本此方面に於ては幸に此等諸國の如く、深刻沈痛なる苦惱を感せすと雖ども其塡補として一種特有なる社會問題に逢着せるを見る、即ち女子に對する男子の壓迫是なり概して言へば我國民の大多數は家庭頗る純潔にして老幼男女何れも欣欣然として最も幸福なる生涯を送りつゝあり夫の歐米諸邦の名美にして實醜に外整ふて內亂るゝものとは固より年を同ふして語る可からず、然ども社會の一部分に於ては常に女子を虐待し凌辱し有ゆる迫害を加へて恬然以て怪と爲さゝる者多多之れあり、彼等の女子を視るや小兒の人形に於けるに異ならす、吾意に適するときは愛玩すること金玉も啻ならす、一旦之に厭けば冷熱忽ち地を異にし動もすれば則ち之を毆打し傷害し狼藉至らざる所なきは是豈に現今下層社會の狀態に非ずや、吾曹は日日新聞紙上に於て「女殺し」又は「情婦斬り」等の標題累々たるを見て實に慄然たらざるを得ざるなり、刑事裁判の實況に付きて觀察するも女子が男子の無情に激して放火又は傷害の罪を犯したるときは假借なく嚴罰する傾あるに反し男子が女子を殺傷したる場合は其原因の正不正を問はずして概ね之に輕減を與ふるを常とす甚しきに至りては痴漢良家の女に無體の橫戀慕を爲し彼が貞操を重じて應諾せさるを怒り之に兇行を加へたる事件に對し判事は所犯憫諒すべき情狀ありとして刑を輕減したる實例あり、又た一層甚だしきに至りては往年播州舞子の濱に於て妻子四人を慘

殺したる者あり、彼は斯くして手足纒ひを處分し家財一切を賣拂ひたる代金を懷にして遠く野州宇都宮に其情婦の後を追ひ往きしなり、此人面獸身の極惡罪に對して檢事は其原因痴情に出でたる故を以て酌量減輕を請求し裁判所之に同意したる實例當時の各新聞紙上に見えたり、此等非常識の人士間に於ては女子の貞操名譽は勿論、其貴重なる生命すらも常に男子に下ること數等なるが如く輕視せられ、痴情の爲めに女子を殺傷する男子は常に社會の勢援と同情とを受く可き特權あるもの丶如く看做されつ丶あり、是れ豈に痛哭すべき社會的痼疾に非ずや、此痼疾を醫治する爲めには一夫一婦の制度を最も嚴肅に勵行し、男子の姦通も女子の姦通と同一程度の罪惡たることを周知せしめ、以て女子の人格を高むると共に、女子に對する男子の謂れなき輕侮心を一掃せざる可からざるなり。

殊に最近の出來事にして痛く仁人義士の心を刺戟せしものは大阪の富豪鴻池家の一族たる某氏夫人の駈落事件なり、某氏は平素銃獵家として世人に知られ生物を殺戮するを無上の娯樂と爲せる程ありて天性最も慘忍なりと見え結婚以來夫人を疎外して絶對に之を顧みず而して己れは則ち内に外に妾を蓄へて日夜淫樂に耽り漁色是れ事とせり、夫人固より木石に非ず、妙齡春を懷ふの身を以て十餘年の久しき獨り寂漠たる空閨を守るは實に此上なき苦痛たり、況んや其夫たるもの眼前に他の婦女を擁して以て夫人の煩惱を挑發するをや。吾曹は實に夫人の心事を想ふて滿腔の同情を濺がざる能はず、彼れ偶ま他人の甘言に惑はされて遂に道德上の罪を犯す、正義の士宜しく其罪を責むると共に深く其悲慘なる境遇を憫諒し、而して彼をして此極に至らしめたる某氏に對しては即ち嚴罰刻責以て再び社會の表面に立つ能はざる可く一大痛棒を喫せしめざる可からず然るに此出來事を報せる新聞紙も將た此新聞紙を讀める公衆も共に某氏の罪惡を默々に付して少しも論せず獨り夫人に對してのみ其名門に成長せしに不似合なるを非難攻擊せり斯くて某氏は社會の何れの方面よりも秋毫の制裁を加へらる丶ことなく今日依然として

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其逸樂を恣にせりと云ふ此の如き苛酷、慘忍、放縱、偏頗及び不正の因りて來る所以は何ぞや他なし婚姻に關する觀念が甚だ不正鵠を失へるに在り、即ち婚姻なるものは片務的に妻をして夫に對する忠實を約せしむるに止まり、夫をして妻に對する同一義務を負擔せしむる双務的のものに非ずとの謬れる見解より來るものなり、思ふに婦人の位置と人格との向上に鑑み、又性慾上より生ずる相愛心、嫉妬心の男女の間に無差別なるに考へ、從て其結果として一方の不忠實なる行爲が他の一方の肉體上及精神上に蒙らしむべき苦痛の平等なるに顧み、而して更に社交上の純潔と家庭內の圓滿と並に子孫に及すべき感化の絕大なるに留意せば、此際速に一歩を推開し此忠實の義務を偏頗なく夫婦双方に負擔せしむることは蓋し最も正當最も必要而して最も機宜に適したる處置と曰はざる可からず、君子の人を愛するや延て其屋上の烏に及ぶ、文明の邦に於ては動物虐待をば許す可からさる人道の罪とせり、況んや吾母、吾女、姉妹を包含する人類の此一半をして毎々迫害の底に沈淪せしむること彼れが如きは豈に東方君子國の耻辱に非ずとせんや、是れ吾曹が社會上より觀察して有妻姦問題の近き將來に解決せられんことを望む所以なり。

〇如何にして例會を興味あるものとなすべきか

山室軍平君

世の中の一般の會合を見ると、多くは飲食が其中心をなし居る、さなくば一種の娛樂の爲めのやうに思はれる、苟も例會を催す以上は、何か益がなくてはならぬ、例會であるから出席すると云ふ丈では實に無益である、例會をして存在の理由があるものといたさなければならぬ、何んでもものが一種の例になつてしまつては駄目である斯樣な話がある、露國では森の外にコサック兵をして其の森の番をさせて置く、實に其番兵は

何の理由もなく益もないのに置かれてある、それでよく〳〵昔からの同帝室の歴史を研究して見ると、餘程昔の或る皇后樣が、森の中にサフランの花がまこと美はしく咲き亂れて居つたので、人が折り去らないやうに、コサック兵をして其森の外に花の番をさせて置いた、それが今になつても昔のまゝに番兵が置てある、所謂例となつたので、サフランの花は今は咲いては居らぬ、益もない事に大切なコサック兵を使つて顧みない、成程初めには理由があつたのである、即ち精神があつたのであるが今は實に無意味なのである、このやうに私共の催す例會も時々無意味な只だ形式ばかりの報告位に止まる事が實に多いのである、今私の想像に浮んだ點を五ケ條程申上やう

1. 先づ第一に神の靈を受くる事である、神と交わりある問題の解決を下す爲めに、一生懸命に祈るのである、救世軍では一週に一度二時間祈禱會をする、祈は凡ての働の元動力である、そして互に歡話をなすのである。

2. 聖書の研究をなす事、即ち聖書のうちの婦人また婦風會員の立場より、聖書を研究する事である。

3. 各事が知識上に有益なる事を研究する事、例令は名婦の傳を播かば、社會問題につきての知識を得る爲め、慈善救濟不良少年一夫一夫の問題などを細密に研究する事。

4. 何にかなす爲めに集會する事、例令は少時間を割いて働いて善をなす事、病院を見舞ふなり貧民窟を訪るゝなり、女囚を慰問するなり等である。

5. 講演會の如きを時々開いて、專門の人を招聘する事

右の如くにて之等を通じて二三の注意する箇條がある凡て此種の集の成功すると否とは

1. 事務的になすか否かにある
2. 活動する先導者の必要なる事
3. 常に會の進歩發達に留意して倦まざる事

只大略を申上た丈であるが、どうしても例會の發達を計るにはお互に其精神を思ふて、慣例になづんでは駄目である。(文責在記者)

家庭欄

◯習慣の話

文學士　上野陽一氏談

子供の時から習慣はつく　勉強は度々に切つて爲せ

▲良い習慣をつける法　良い習慣を附けるには、子供の場合と大人の場合との二つがあります、子供には良い手本を示すと云ふことが最も大切で、人の觀念と云ふものは、一々運動に表はれます、さうして一旦運動に表はれると、道が附いて了つて、其次には又其道を通つて運動をする傾向があります、子供の習慣として大人になるまで連續する大切なことは、睡眠と食事であります、之が家庭で注意すべき最も重要なことであります乳を與へる時間の如きは、子供が請求しなくても母の方で注意をして、其時を違へぬやうにしなければなりませぬ次には社會の影響であります、上流社會は優美になり、下等社會は粗野になると云ふことは、一般の風で、子供の時からの習慣の然らしむる事は云ふまでもないことであります、が又自然界の影響、天然の風景などは子供の性格の上に相違を生じます、大人が良い習慣をつくらうと云ふには、何うしたら宜いかと云ふに例へば朝早起の習慣を造らうと思ふならば、第一に實行をする、五時と定めたら何でもかでも五時に起きて見る、眠くつて耐へられなければ、食事後に又寢るとも、兎に角躊躇せずに起きて見る、それを度度繰り返して居る中には、自然に習慣が附きます、若し折角五時に目が覺めても、起きやうか何うしやうかと、床の中でぐづ〱して居るやうでは、何日になつても到底從來の惡習を打破ると云ふ事が出來ませぬ、語學を勉強する場合にも一日に三時間勉強するとしても、一度にウンと勉強して、後に捨てゝ置くと云ふ遣り方は不可ません、三十分勉強して又間を隔てゝ三十分勉強すると云ふやうに、度々に切つて練習することが肝要であります、何故斯様に時間を切ることが必要

かと云ひますと、詰り練習と練習との間に、我々の神經系統に營養作用が行はれ、其爲に習慣の道が早く固まるのであらうと思ひます、一遍練習して道が附いたら、其後の練習に因つて其道を完全にし、深くして行くーになるのであらうと思ひます、ダーウインの自傳に、三十になる時分までは、詩歌に大なる興味を以て見たが、此頃（老後）は一向に面白味を感じなくなつた、畢竟是れは學問上の研究に熱心になつた爲めで、詩歌上に趣味を失つたのは、自分の幸福の減殺であると書いてあるが、これなどは一遍出來た習慣の道も、その練習が途絶すると、自然に薄くなつて行くと云ふ、適例であると思ひます。（時事新報轉載）

〇物を貰ふ習慣

人から物を貰ふ習慣をつけてはならぬ、どうしても依賴心を強め、怠惰心を起し、陋劣な性格を造るやうになります、母親は此點に於て充分に警戒せねばなりません、ことに他人が與へる事に於て、注意が必要であります、折角家庭に於てよく育つた子供が、親類の人に、近隣の人に惡い習慣をつけられる事がまことに澤山であります、可愛い子供であると何ほの事である、心ある人は氣も付けやうが、大概の人は情に溺て矢鱈に何にやかや子供にやります、私の友人に二人のまこと愛らしい男子があります、袖すれかはす途上の人でさへも、其子供を見て頬笑まずには居られない位の子であるから、近所の誰彼となく、可愛がつて隨分金目の物さへ取らせるのであります、であるから偶々ある家を訪れて、其家で何にもくれない時には、二人ともまことに不思議な顏をして何故坊をほつて置くのと申すさうで、其母が非常に耻をかくと云ふ事で、近所の人々には呉れ／＼も賴んで、余り可愛がつて呉れるなと申すと、また物をくれる人は、坊ちやま母樣にだまつてお出なさいと、申し聞かせるので、だん／＼橫着になつて困るとつく／＼くどきます、折角母が一生懸命に善い子に育てやうと思つて居るのに、側から寄つてたかつて、兆を打ち破つて行くのであります、母なる人は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

非常に注意すると共に余り外に出さない様にするがよいと思ひます、また可愛がる人も少しは、其の子供の爲めを思つて、物を與へるにも氣を付けねばなりません、大人でも物を貰ふ境遇の人は、どことなく賤しい所があります、まして何も知らぬ子供がいづこへ行つても、貰ふつもりであるのは當然であります、所謂乞者根性を起させてはなりません。

○萬國婦人矯風會動物優待課課長マリー、ローヴエル夫人の動物優待に關する開文

粛啓小妹は萬國婦人矯風會動物優待課に對する興味と同情との愈進みつゝあるの事實と之れが爲め直接間接に盡瘁さるゝ人士の近來著しく增加せる事實に對して皆様の御注意を喚起仕度候、本運動は矯風會に對する地方人心の同情を呼ぶ適當なる途なる可しと存候、之まで其發展の爲め苦戰せる地方の矯風會も本運動の爲め如何ばかりか助勢されし事あるを疑ひ不申候、本運動の教育的に有之候事は之れまであり來れる動物虐待防止運動が警察の力を借りて以て法律を勵行せるが如きに比し候へば人心の機微に觸れ人心の優美高尙なる部分を開發するに於て到底比較すべからざる教育的價値の存するものと案ぜられ候

萬國婦人矯風會の目的は社會改良に有之候、社會改善の爲めには生きとし生けるものに對し慈愛をかくるを教ゆるよりもより善き根底基礎となるものは無かるべしと奉存候

本課の目的は啻に動物待遇の現狀を優良ならしむるに止らず實に人類をして「天父の慈悲深きが如く汝等も慈悲深かれ」と曰へる神人の思想界に近づかしめんとするに外ならず候、本運動は若し私共にして人に愛せられんことを欲せば先づ之れを他に施すべしとの尤も切要なる而かも能く忘却され易き基督教的教訓を活現せしめんとするものに御座候

本課は又動物を無慈悲に取扱ふは其被虐待動物に與ふ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る結果よりも人心に與ふる弊害の寧ろ恐る可きものあるを鼓吹するものに候、飲酒の弊の惨烈なるは記するの要なき迄に明白に御座候へ共其遺傳性が子孫にあらはれて往々他の權利を侮蔑蹂躙するに至る惨酷、無情、無頓着なる傾向となる恐るべきものなるを忘る可からざる事と案じ候

年若き少年男女に本運動の親切や慈愛の精神を鼓吹するに當つて前記の如き傾向が大なる障害をなし大に之れと戰ざる可からざはる事も有之候。天下何れの所にも斯る慈悲の精神を鼓吹するを要せざるの地は無かるべく存せられ候、我等人類は生き物に對し未だ同等的に待遇するの親切なる點には到達なし居らずと存候。

日々の新紙の表に畫き出さるゝ惨痛なる三面記事を一讀仕候へば人心を柔らげ以て仁愛の堂奥に之れを導く爲めにあらゆる手段方法を講ずるは我等クリスチャンの責任なるべきかと奉存候、斯る活動を爲さんには私共は先づ少年子弟に著手せざるべからずと存候

就ては支部に於てかゝる運動の斡旋をとる委員團を要する次第に候、小妹は各支部が動物慈悲運動の爲め委員を擧げ更に該委員は各支部に於て本課の爲め適當なる主任者を撰び本課活動の手段と方法を勵行實現せられん事を懇望に不堪候、若し貴地方に未だ本課の設け無之候はゞ進んで本課を設立し本課に興味を有さるゝ適當なる主任者を擧げられん事を切望致し候

何卒此開書を御地支部會の節御一讀被成下度候

萬國婦人矯風會動物優待課々長
マリー、ローヴェル
合衆國ウキンコートにて

青年部欄

部長　ガントレット

本年三月左の所に新しきYが設立されましたから皆様に御紹介申上げ且つ部員一同に代つて紙上にて御歡迎申上ます

設立年月　四十三年三月

名稱　宮崎キリスト教青年婦人矯風會
場所　宮崎市クラーク夫人方
役員　會長ミセズ、オールッ（日向宮崎上別府）
　　　會計黑住こま子（同上）
　　　書記福崎政子（同上）
會員數　二十二名
課　花の課、禁酒課、風俗課、少年課、
集會日　毎日曜日

◯清潔なる生涯のしをり

凡そ人として惡い事を好んでする者はありませぬが何故世間の有爲なる青年男女が誘惑に打勝つ事が出來ないで、肉慾を恣にし、「自らを潔くすべし」との天文の命令を無視して獸類に等しき行爲をするに至るのでありませうか、是には必ず種々なる理由と原因がありませうが、私の極く手近の原因と認ます所は四つありますから左に揭げて御參考に供しませう

第一、人間が神より賜はりし大切なる身體を汚すといふのは、結局自分の身體に對する尊敬の念が足らぬからであります、其は自分の身體といふものは如何なる有樣に造られて居るか、如何なる不思議と美と力が其の中に、こめられて居るかを知らぬ結果ではありますまいか、人間が若し此の身體は神聖なる神の賜物であつて、神の聖殿として其造主の形に削せて造られたのみならず、近くは我等の父母の賜物であり、之を傷け汚すは不幸の大なるものである事を深く確知しましたならば、どうして之を輕卒に取扱ふ事が出來ませう、我國では男子は美しく咲いて潔く散る山櫻を其模範として居るではありませんか、然し若し彼の櫻花が如何に美しく咲き出ても、枝を距れぬ中に汚れたなら誰が其散るを惜みませう、彼の櫻花が咲き出るより散まで其清潔を保ち地上の塵より超然として咲きにほふからこそ、日章國の國花たるの榮譽を負ふ事が出來るのです、故に自らの價値を知りて之を重じ徹頭徹尾之を潔く守る事は人間の本分であります、若し皆樣が今日まで人身生理に注意せられず、又不幸にして之を皆樣に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

敎ふべき責任を有つて居らるゝ御兩親が未だ其務を怠つて居られましたならば、時をうつさず、御兩親か或は自分の信用せらるゝ敎師か醫士より委しく神聖なる身體の務に付て尋ねらるゝか、又は適當なる書物を求めて研究せらるゝ事は得策であると存じます、然し之を研究するには極く注意して最も信用すべき品行方正なる聲譽ある人を撰ばねばなりません、一度でも不正不潔なる考を有つて居る人の口を通して汚た考を注入される時は一生之を我等の腦裏から拂ひ去る事が出來ませず、之が誘惑の媒介となりますから、最も此の點に注意せねばなりません、

全國の會員諸姉へ

我日本キリスト敎婦人矯風會が社界に立つて惡魔の勢力と奮戰致しますに當つて必要なる武器が澤山ありますが、其中で最も有力有効なる者は機關雜誌婦人新報である事は何人も疑はぬ所であります、然るに此新報が常に財政上非常なる困難に陷て居つて一昨年の如きは、一時之を廢さうかとまで考へらるゝに至つたのであります、假令日三千有餘の會員の中幾人の姉妹が此新報の事を心に懸けて居られるでせうか、私共御互に毎年大會の會場で記者より御氣の毒なる御事情を承りますと、其時は嘸ぞ御難儀であらふ、之は一つ何とか救濟の方法を考へなければならないと思つて眞面目に御同情致しますが、大會が終つて仕舞へば其考も一所に終つて仕舞つて次の大會までは忘れるともなく念頭を去ると云ふ方が多くはありますまいか、御承知の通り新報は決して役員や記者の專有物ではありません實に我會の生命でありますから、新報の運命は會の運命の大關係があります、隨つて新報の命を長からしめ、其使命を全うせしむる事は私共會員の責任であります、新報の内容も以前より餘程改り段々社會の人からも歡迎せらるゝ樣になつて來ましたのを見ましても記者の御苦心のほど御察し申ので厶ます、然し只口で御同情に堪へませんと申たからとて少しの助にもなりません、會務から新報編輯發送まで一人でなさるゝ記者の御心

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

配をを私共各自自分の上と思ひまして、言葉以上に御同情を表し度と存じます、本より各支部の姉妹方は已に其持場々々に於て手一杯の仕事が御ありになり御困難なる事は重々承知致して居りますが、尚會の發達進歩の上を思つて一層の御奮發を願ひ度ので厶ます、其で此際新報補助の目的を以て特別の御寄附を多少に拘らず私まで御送り下さる樣折入つて御願ひ致します、

山口縣山口町中河原
ガントレツト恒子

小兒欄

ダニエル、ウエブスターと栗鼠

百合子

ダニエルのお父さんはお百姓でありました、栗鼠がすぐ其隣林に巣を造くつて、畠物を大層あらしたり喰べたりしますので、それ〳〵は皆が大困りに困りました、ダニエルの十二三歳の頃で御座いました、或る日兄さんのイゼケルが罠を造へて、終尾よく一匹の栗鼠を捕獲ました、イゼケルがすぐに殺してやらうと申しましたが、ダニエルは此臆病な、啞の獸物を見て、可哀さうでたまらず、モー一度放つてやる樣に願ひました、皆がなか〳〵承知をしませんので、遂々お父さんに始末をつけていたゞく事にいたしました、

よし私は裁判官になつて上げやう、あなた方は檢事である、被告を生かすも殺すもあなた方の考へ一つになるのだよ、とお父さんが仰しやいました、

イゼケルは有力な議論をし初めました、既に犯しました罪を數へたて丶、この罪人の生れつきよくない事を一生懸命に述べ立て、私が之を捕へるのに、さん〳〵時間をつぶしました、之を生かして置いては後ち〳〵が恐ろしくあります、モー一度放つてやつたらそれこそ大變である、前よりモツト惡い事をいたしませう、而して決して二度と捕まへられない樣にしませう、至く狡猾い奴ですからと、尚ほイゼケルは殺せば其皮も何にかに使用されもし、モー損害を蒙る事もないなど

と、整つた尤もな議論をいたしました、お父さんは、こんどは後には名高い裁判官となりましたダニエルの顔を一種の誇をもつて眺めました、サーダニエル此度は君の番だ、君の云はんとする事を聞かう、

議論などするのは彼には初めてゞありました、それに兄さんの一理ある議論がお父さんの賛成を得たやうでもあるから、彼は少しびく／＼して居りましたが、大きい輝いた黒味勝の眼で、狭苦しい箱の中で、戰慄して憫みを乞ふ様な栗鼠の様を見ました時には、彼の心は憐憫の情に満ちて、勇んで非常な勇辯で、罪人の放免を主張いたしました、神様がお造になつたものに無益なものはありません、神様が栗鼠を造つて、私共と同じ様に日の光を仰ぎ自由に森や野をかけ廻るやうにお免しになりました、こんな小さいものでも、他の動物と等しく相等の權利を與へられて居ります、これは狐や狼のやうな、有害な動物ではありません、たゞ普通の野菜などを喰べるのみで、大した害をいたしません、澤山ある野菜のうちから少し位分けてやつても差支へはありますまい貧しい暮をして其をさゝへる丈しか餘計なものは喰べません、僅かな食物で樂しく家族のものがくらして居るのであります、神様は食物を彼等の爲めにお備になつた、神様に造られたものであるなら、我々人間は、氣の毒な啞の様な獣物の爲めに幾分か分けてやるのは當然ではないのですか、彼等とても矢張り生存する權利を持つて居るではないですか否彼等動物は人間が度々犯す様に、自然の律神様の律を決して破りません、彼等は凡ての物の造主なる神様からいたゞいた、單純な無害な本能により從つて居ります、神様の御手によつて造られたものは生活し自由を得る丈の權利を持つて居りますと動物の爲めに熱心に辯論をいたしました、その優しい心根に對しても、正しい判決が與へられねばなりません、もし酷く冷かにその生命を取つたらモーとり返へしが付きません、神様の外誰れも造る事の出來ない此の生命を、この哀願の間に涙は止めどもなくお父さんの頰に流れました色々の感慨が胸に迫つて、此の老父さんは物さへ云ふ

事が出來ませんでした、お父さんは、未來に此子供が偉大な人になるのを覺りました、神樣が一般の人々にお與へになる以上の祝福を自分等子供の上に、給ふた事を感じました、唯だ〳〵感謝の涙にかきくれて居りました、ダニエルの憐憫と同情は、心から迸る勇辯となつて、慈悲に對する強い切なる訴となつて、人々の心を動かしました、お父さんは自分が裁判官の場所にあるのも忘れて、ダニエルの議論のすまない中に椅子から飛び上つて、總領子息の方に向いて、涙を流しながら、イゼケル〳〵モーその栗鼠を放つて自由にしておやりと申しました。

○慈愛館の榮譽

△クリテントン慈愛館

慈惠救濟事業ニ關シテ從來盡力スル所少ナカラズ今後尙ホ一層勉勵を以テ其ノ効果ヲ收メム事ヲ望ム依テ玆ニ金二百圓ヲ下附ス

明治四十三年三月廿六日

內務大臣正三位勳一等

法學博士　男爵　平田東助

右會員諸氏幷ニ讀者諸君ニ謹テ告ス

內外通信

○本部

春酣に花は天地を飾つて、見るもの聞くもの新らしく、樂しからぬものはない、この樂しい春の日を、卜して矯風會慈善園遊會が、大隈伯爵邸に開催された、曇らぬ空の晴れ〳〵しく、ちとの風もなく世は實に平穩な日であつた、朝の十時頃より三々五々袂をつらねて、來會せられた客は引もやらず、午後二時頃には六百餘名の人が、綠の芝生の彼方此方に一團づゝ座するもあれば、おすしや、甘酒や、おしるこやなどの賣店

に坊ちやま孃樣方のお相手をさるゝ人もある、貞一の手品は時々に演せられて、大人さへもをかしく覺えた、やがて大隈伯のお演説もありて、來會者の滿足一方ならず、萬餘坪の庭前に、咲き亂るゝ、紅白の匂すゞしく、紅茶のカップに一片三片飛び來るも面白く、さては老ひたる人のかざしとなるもまた嬉しかつた、散會したのは、長き春の日の目黑の森に傾むきて、夕づゝの薄すりと西の方にほの見えた頃であつた、入場券決算の報知は左に示した通りであるが、吾等矯風會の事業に多大の同情と便利とを與へられる大隈伯爵并に令夫人の厚情は、いつまでも會員の心に銘して忘るゝ事の出來ない榮譽と感謝とである。

謹啓

多大なる御同情と御親切とにより今回開催仕り候慈善園遊會は存外の好結果を得候事一同の感謝に堪へざる次第に候左に決算報告を添へ略儀ながら書面を以て御禮申上候　敬具

明治四十三年四月廿九日　矢島楫

慈善園遊會決算報告

收入金額

金六百二十七圓六十錢也

支出金額

內　計

金四十一圓也	賣店假設費并に園丁人夫料
金二十七圓七十五錢也	餘興料
金七圓也	印刷費
金十一圓四十錢也	會員外世話人へ謝禮
金七圓五十錢也	郵稅
金五圓五十錢也	入場券配付車代
金四圓四十五錢也	事務費并に諸雜費

計金一百四圓三十錢也

純益金五百二十三圓三十錢也

右の通りに候也

寄附者の御姓名

男爵 平田東助殿	男爵 後藤令夫人	子爵 岡部令夫人
侯爵 大山令夫人	男爵 高木令夫人	小松原令夫人
有島令夫人	留岡幸助殿	小室令夫人
原令夫人	安藤太郎殿	南とめ子殿
戸板せき子殿	山本令夫人	普覺寺轍吉殿

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

盡力者の御姓名

竹越令夫人　長尾令夫人　栗塚令夫人　中村みほ子殿　荒木つれ子殿　岡林令夫人　エリス孃　富永廷子殿　三谷民子殿　栗屋際子殿　本多貞子殿　下田歌子殿　長谷川きた子殿　天野令夫人　嘉悦孝子殿

寺村正千代殿　小倉文枝子殿　ストラウト孃　中澤東子殿　島田信子殿　守屋東子殿　井深花子殿　山脇令夫人　岡山令夫人　須藤令夫人　船曳みき子殿　安達たよ子殿　渡邊錄子殿　デビス孃　根本德子殿

矢島淑子殿　鈴木元子殿　横倉秀子殿　男爵濱尾令夫人　神田令夫人　杉山令夫人　鵜飼猛殿　高橋とく子殿　南波令夫人　大關和子殿　竹中繁子殿　山東桼子殿　河原ます子殿　渡瀬かめ子殿　川上夫人

賣店主の寄附

金四圓六十錢　　紅茶、サンドウキッチ賣店委員

金三圓　　岡野菓子商

（外に賣上高一割の寄附二圓三十五錢）

○神戸

三月五日例會を日本基督敎會に開催出席者二十四名三瀬副會長の司會にて讃美聖書朗讀祈禱をして開會神戸神學校敎授渡邊敢氏の米國に於て東洋婦人の爲め設立せられたる救濟會につき其救護法及目下我國婦女子が如何に巧みなる手段に由りて墮落されつゝあるかに就き驚く可き御實見談あり、延いて我國にても婦人の位置を保たしめんには第一に外國渡航者を取り締る可きことの必要を說かれ、其他矯風事業としては飲酒の有害なる事につき又食品殊に菓子の贈答の危險を知りて之が爲めに注意すべき事、及婦人は常に人の噂をなすの時多く時としては主人の大事を洩すなどの事もあれば、之等は互にいましめ且つ世人にも其害を知らしめ矯正すること等も該事業の一端なるべし、凡て肉眼をもて見る時は社會は美しきものなれ共一度靈眼を開きて眺めんか、一として矯風を要せざるものはなし、然れば吾人は常に靈眼を開きて何事にも「主エホバ汝知

り玉ふ」（結三七。三、）といふ、信仰に由りて活動せざる可らずなど種々實見上の講話あり一同大に益せられ閉會の祈禱をもて四時散會す

四月二日母之會をメッヂスト敎會に開く折惡しく天候荒れ來會者も多からず卅名許りと覺えし、

關西學院々長吉岡師の「男兒中等敎育に於ける母の心得」と題せる講話あり同師多年の御實驗の上よりの御注意一一世の母親の心得たらざるはなく、實に目下緊急の問題のみ深き反省と敎訓とを與へられ、其綱領を擧ぐれば第一、學校の撰擇、こは最も大切の事にして其兒を託せんとするには先づ、學校の氣風其方針、其校長等充分なる注意を以て調査せざる可らず、最も注意すべきは校長の人物品性之れなり第二は生徒の氣風にして斯る事に於て信任に價せずんば決して其愛兒を託す可らず、轉校は最も避く可き事、殊に入學の際など萬一を慮りて二三校に願書を出す等忌む可き甚しきものといふべし、尚學校に於ては單に學術技藝を授けらるゝものとのみ思ふ可らず寧ろ人物を養ふ所人を造るものなりと思惟せざる可らず又其心もて撰擇に勉めざる可らず、第二學校との連絡、子供は凡て小學時代に在ては萬事親任かせなれ共中學時代に入る時は（殊に三年生位）非常に自信力增進し自分位偉大なる者は無きかの如く感じ親の目の屆かざる所如何なる事をも爲し兼ねまじきに至る、自信勿論善きものなれ共危險亦甚しきものあり、此際學校と家庭との連絡、必要切なるものあり、即ち母が時に學校を訪ひ其兒の樣子に注意などなす時は荒らびれたる男兒も尚母が自分を思ふの愛に感激すべし、此感激の心こそ兒を不識の中に感化するものにして、恐る可き靑年の墮落を未發に防ぐものたるなり第三課業及品行に對する注意、勉學の良習を造る事は極めて必要なれ共之を眞向ふより云ひて勉强せよと迫る時は却て反抗のみするものなれば勉學に對する趣味を喚起せざる可らず、即ち誰れにても學課に好き嫌ひ長短あるは人の性とて其最も好む課業を母が撰びて之を學ばしむる時は興自ら湧くもの故、かゝる際に他に轉ずるやうにして趣味をもて勉學

するやうなさしむ可し、其品行に就きての監督も極めて公明正大に其美點を認めて奬勵し自ら惡しき方を忘れしむ樣つとむべし假りにも親が苛酷に己が行狀をせむるものなりとの念を懷かしむ可らず、第四、友達友人の收入、其談話等に注意し己が子に智識に於て、品行に於て益を與ふべきものならずんば決して許して交らしむべからず、此點に不注意に只放任して其子の一生を誤らしむる者多し謹む可きなり、尙中學時代に在りては實に靑春生理上の變化著しき時なるを記憶し其感情を刺戟すべき事物に觸れしめざる樣注意する事必要なり云々。

○大阪

北新地の運命（新遊廓は斷然出來ぬ）

昨夏大火後府令を以て北新地の遊廓が取消しとなり其の期限いよ〳〵切迫して泣いても笑つても本月一ぱいにて遊廓といふ名は消滅する譯なるが貸座敷は普通の待合として營業し、藝妓は舊遊廓地域内に限り居住を許さるゝものとしても何かに不便多く殊に夜十二時を過ぎては三味も鳴らせず客を泊めることも出來ず結局商賣が立ち行かぬやうになればと同廓大西取締を初め有力者の面々廢止府令の出た當時より額を集めて之が善後策につき協議をなし兎に角市内の或一方の地に遊廓新設のことを請願し現在の營業者が一團となつて其處へ引移り營業すべきことに相談を纏め廓内總連印の上其の筋に請願書を提出したるは昨年八月下旬のことなり其の後本紙上にも屢記載したる如く知事公を始め警察部にても請願の主旨を酌みてか否か別に一箇の遊廓新設は必要なりと唱へ、野心家の面々は頻りに新設地の何れなるかを知らんとし中には候補地を勝手に定め丁寧に圖面まで引いて『此處に限ります』などいふ書面を提出したる向もありし模樣なるが二三日前に至り突然同廓事務所は一般貸座敷業者に向ひ『其の筋にては斷然新遊廓地を指定せざる方針の由につき移轉の希望絕えたれば左樣承知せられたし』と廻文の通知書を發せり、左れば何れも大に困り向後營業繼續の方

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

法につき頭痛鉢卷の體なるが、何故其の筋が曩の說を飜して斷然新遊廓の指定をなさざる事に決めたるか詳細の事情は不明なるも種々なる請願に關し愼重なる取調を行ひたる結果營業を繼續せんが爲新遊廓の指定を希望せる向はホンの小茶屋連に限り廓中重立ちたる面々は地所をウンと買ひ占め置き指定の公表とゝもに地價の騰貴を待ち一擧に巨利を博せん事を謀らみ居り現に候補地として數へられたる櫻宮十三橋、中津村、大仁附近などは大口に買收をなし居る事實判明したれば今更遊廓設置に伴ふ弊害の夥しきを認め斷然指定せざることゝなりしが如し左れば同廓及び之に關係して地所の思惑買をなせる向は今更のやうに狼狽し買抜け策に苦心中とは身から出た錆誰を恨むといふ譯にも行かざるべし。

◯靜岡

三月十二日英和女學校に於て例會開催當日は富士製藥會社員石井成一氏の米國婦人事業に付て同氏が數回渡米視察されし彼地の實情に付き詳細を語られ殊に彼の地の姉妹等が如何に高傑なる心情を以て移住民の爲め醜業婦の爲め慈善事業に社會事業に熱誠キリストに奉仕しつゝあるかニューヨークに於けるハウハッスの一團體の事業の如き一同多大の感興を與へられたり終りて一同茶菓の間に淸談閉會四時

四月二日山室會長の宅に於て相談會を開き來る例會に於ける準備に付て種々協議をなせり城のぶ子提出の山室救世軍中佐を招請し講演會を開くことに決議し散會松島、池田、山崎、城、綾部、梅澤の數婦來會さる

四月九日午後一時より英和女學校に於て例會開く生憎降雨なりしも數日前よりの姉妹等の熱心なる準備は遺憾なく定刻に百名餘の來會者を見るに至る初めに山家姉開會を宣し挨拶をされ山崎姉詩篇を朗讀し　城姉祈禱の後山室中佐は演壇に立ち例の熱烈平易なる語調を以て婦人献身題下に凡そ一時間半に亘る有益なる演説あり要は身を捧ぐると共に心をも捧げる意義にして或る一事に献身したるもの熱心なるもの献身したるにあ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らず宗教家慈善家あれども献身したるにあらずとてブース大將婦人の實例を引き大なる警醒を與へられ一座又涙を出さぬものなし中佐の祈禱を以て閉會三時半

○呉

一月七日午後四時半十時會長と姉の舊師にして我等の爲には敬愛する會頭矢島先生との間に話とみに運びて思ひがけず呉停車場に老會頭を迎參らする光榮を得たりき突然のとて充分なる準備をなし得ざりしは遺憾なりしも出來る限り通知して翌八日午後一時半より日本基督教會にて臨時集會を開くあやにくの雨天なりし爲集會者僅かに三十四名十時會長司會せられ讃美祈禱の後矢島先生は日本に於ける矯風會の設立より初め會の主義事業現今に至る迄の經過の概略さては先年渡米せられし時の見聞感想等より如何に此會の盛衰が社會に國家に家庭に重大なる關係を有するかを說かれ「我等をして世に勝たしむるは我等が信なり」との聖句の上に確く立ちて會員各自が一層奮勵せんことを奬勵せられ一同會頭のあふるゝ熱誠と元氣とにはげまされて散會す先生は十日迄十時會長の御宅に滯在され温かき舊師弟の交の中に軍人ホームの實況を親しく見聞せられ且つ軍人たちに多くの良き教訓を遺されて十一日歸京の途につかれぬ

二月廿四日例の如く一時半より兩城なる十時會長の御宅にて開催す會長司會せられ讃美祈禱聖書朗讀等ありてミス、ヲジントンは舊約新約書を引きてモーセの母につきて彼女がモーセの靈性上に及ぼせる偉大なる感化につき趣味深く有益なる講話あり次に會長の簡單なる勸めあり宇津姉の會計報告の後散會せしは四時頃なりき此日集會せる姉妹廿餘名なり

○横濱

三月十九日午後二時より尾上町指路教會に於て矯風會主催の演說會を開く古田とみ子姉司會（同姉は今回會員となられ會員一同の希望にして總會の時副會頭に推撰せしなり）聖書ロア書十二章朗讀祈禱の後東京より

來賓せられしミストラウトと禁酒禁煙に付種々有益なる講話あり一同今更ながら吾等會員の一日も忘るべからざる事業なる事を奨勵せらる一同主の祈を以て閉會
當日は三教會聯合の婦人會とも合併せし事なれば多くの人を集むるべく豫期せしに生憎當日曉に當市に大火ありて會員諸姉も近火の方々多く爲に豫期する如き盛會を見る能はざりしは遺憾なりき

○京都

三月七日午後一時半より平瀬姉御宅にて例會を開く、會長富森姉司會の下に讃美、聖書朗讀、祈禱あり、直ちに湯淺初子姉の勸話あり、即ち神が吾人を此世に存在せしめ給ふ以上は必ず何かなすべきある事を自覺して與へられたる自己のつとめを忠實になすべきやうとの懇ろなる御話しありつゝいて同姉の祈禱後、富森姉の一人の人の熱心なる且つ眞の働は譬へ其働の些細なるものにもせよ、いかに人の心を動かし、善化し得るかとの實例を擧げて懇切に述べられ、一同大に感ずる所あり宅原姉の熱誠なる祈禱後、平瀬姉より供せられたる茶菓の饗ありて散會せしは四時過ぐる頃なりしが會する者唯六名なりき
四月四日午後二時より同志社女學校に於て例會旁々祈禱會を開く、原田咲子姉司會、讃美、聖書朗讀、祈禱の後、同姉の、我々會員は出來得る範圍内に於て會に對し何か盡すところあるべきなりと述べられ、ついて各自の熱誠なる祈禱あり次に富森幽香子姉の、此度花の課を新に組織し、同課長を多田艶子姉に御依賴なすべきとの報告ありたり、姉は名義にそむかざる働を爲さむ覺悟を以て之の任を快く受けられしは、會員一同の深く感謝する所なりき、二百四十八番の讃美を以て會を閉づ、直ちに茶菓の饗あり、しばし懇談に時を移しぬ、時まさに四時半、此の日集れる姉妹方は甚だ少數なりしも實に心ゆく集ありき、當日出席者六名。

○米國加洲王府

明治四十三年三月十日木曜日午後三時より王府美以教

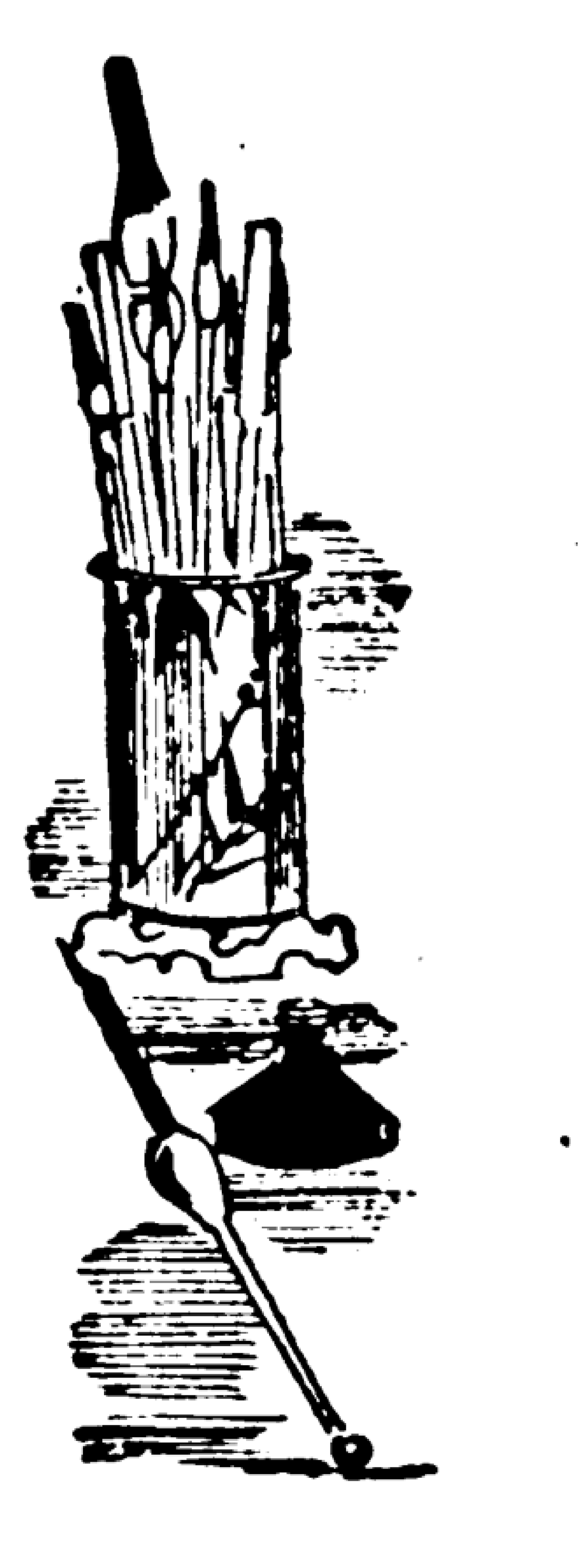
會に於て矯風會例會を開く初めに會集一同讃美を唱ひ會頭大久保夫人の聖書朗讀熱心なる祈禱及び懇切なる感話等ありたり次で河島牧師の一場の有益なる講話あり會集一同大に感動す其大要は

詩編ダビテの歌を引用してダビテの高傑なる人格を現はし續て宗敎は觀念にあらずして實際あらざるべからず、思想に留らずして人格となりて初めて効果あり、婦人は家庭に於て大に有力なる者にて婦人の熱心に依りて家庭をも善化することを得故に宗敎道德を識のみに有らずして其を實行し人格の上に現れてこそ家庭をも動かす力の有る者なり略下

右終りて會計書記及び課の報告等あり後讃美祈禱を以て第一式を終り茶菓の饗應及び隨意懇談に移る本月は諸兄姉の同情に依りて新調されたる章旗紹介かたく特別會員二十餘名をも招待たれども多くは故障出來し特別會員にて出席されたるは僅に五名本會員二十名合計三十五名餘なりき

傳道課、聖書四部配布す其中一部は病める人に一部は小供を失へる人に、他の二部は酒を呑み放蕩に流れ殆んど暗黑に苦める二人の人に各一部づゝ配布せらる、兩人共其聖書を讀みて非常に感じ各々己が罪を悟りて悔ひ改めたり

三月九日イストオーランド白人組合敎會に於て米國加洲亞郡矯風會大會開催さる、當會よりは數名の代員出席す午前は十時午後は二時より兩度の集會なりしも午前には出席すること叶はず午後に出席したるは役員撰擧終りて祈禱會のみなりき、數名の熱心なる祈禱及び有益なる感話あり特に兒童の精神敎育は婦人の重大なる責任にして現今矯風會の大に爲すべき働なることを陳られたり在米黑人の間に矯風會組織せられ此度加洲矯風會に加入されたるを以て集會者一同の前にて數名の代員を紹介されたり



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○購讀者諸君に謹んで告ぐ

弟橘比賣命ノ御遺跡建碑趣意書

日本武尊カ熊襲ヲ平ケテ後チ更ニ東夷征討ノ勅ヲ奉シ相模國走水ヨリ上總ニ渡ラントシテ偶々海上暴風ニ遭ヒ其ノ妃弟橘比賣命身ヲ投シテ尊ヲ救ヒ奉リタルコトハ史ヲ讀ムモノヽ能ク知ル所ナリ

弟橘比賣命カ孱弱ノ資ヲ提ケテ軍旅ニ從ヒ深ク未開ノ地ニ入リ萬難ヲ排シテ能ク尊ヲ助ケ進ンテ相模ニ入リ走水海上尊ノ危難ニ遭フヤ其ノ任務ノ重大ナルヲ慮リ命ヲ鴻毛ノ輕キニ比シ「是必海神心也、願以妾之身贖王之命、御子者所遣之政遂應覆奏」ト言ヒ訖ルヤ奮然身ヲ躍ラシテ海中ニ投シ自ラ犧牲トナリテ尊ノ命ヲ救フ何ソ其意志ノ崇高ニシテ其行ノ壯烈ナルヤ是レ吾人カ烈女ノ龜鑑トシテ千歳ノ下誠ニ景仰措ク能ハサルトコロナリ

然ルニ其ノ遺跡タル相模國三浦郡走水ニ於ケル現狀ヲ見ルニ妃ヲ祭リ奉リタル橘神社ハ往年其ノ所在地旗山崎ノ陸軍用地トナリシトキ走水神社境内ニ遷座セラレタリト雖其ノ社殿ノ矮陋見ルニ足ラサル誠ニ恐懼ニ堪ヘサルモノアリ是レ豈國體上ノ一大恨事ニアラスヤ今ヤ村民相謀リテ橘神社ヲ撤シ其ノ神體ヲ走水神社卽チ日本武尊ノ神體ト共ニ安置シ奉ラントスルノ擧アリト聞ク

吾人茲ニ感アリ乃チ同社境内ニ碑ヲ建テ刻スルニ「佐泥佐斯」ノ御詠ヲ以テシ貞節比無キ弟橘比賣命ノ御遺烈ヲ永久不滅ニ傳ヘ奉リ併セテ世道人心ヲ稗補スルトコロアラトントス大方ノ諸君希クハ贊同アランコトヲ乞フ

一、建碑ノ設計並實施ハ之ヲ發起人ニ一任セラレタキコト

二、建碑ニ關スル經費ノ收支明細ハ追テ決算ノ上報告致スヘキコト

明治四十二年　月　日

發起人　伯爵　伊東祐亨　　子爵　井上良馨

伯爵　東郷平八郎　　伯爵　乃木希典

男爵　高崎正風　　男爵　上村彦之丞

茂井茂太

尾島眞治先生著

讃美歌の説明

定價十五錢　郵税四錢

讃美歌の敎會の必要なるは申す迄も御座いません殊に御婦人方には最も愛唱されるもので御座いますが仲には讃美歌の由來も御存知なくたゞ何の意味も解らずに御居での方が少く御座いません。本書は讃美歌の作歌者の傳記、作歌の由來を記載し、字解の部に於ては歌中の分り惡い處を註が附けてあり、體裁は小形讃美歌と同形で携帶に便利です。

ジユボイス原著　大宮季貞　鈴木浩二　兩先生譯

敎授の秘訣

定價卅錢　郵税四錢

子供に物事を敎へるの丶六ケ敷い事は申す迄も御座いませんが、見えざる神様の事や、魂の事や、愛の事などを敎へる日曜學校の敎授は、其中での一番六ケ敷い事で御座います。本書は學理と實際との上より日曜學校の秘訣を説いたもので、日曜學校敎師の方は勿論、御子様をお持ちの親御様も御購讀になれば、必ず有効の事と信じます。

宮川經輝先生著

心靈の修養

定價壹圓　郵税八錢

先生の説敎三十篇を蒐めたものであります。本書は殊に家庭に關した説敎が多く、婦人には有益であります。體裁も美麗にて書棚の美觀を添へます。

原田助先生著

信仰と理想

定價六十錢　郵税六錢

先生の文集であります。靜思、漫錄、談叢等の諸篇に分れて居りまして、信仰に進み、理想に生きんとする婦人方には趣味深き本で體裁は頗美麗に製本致して御座います。

發行　東京京橋區尾張町　振替東京五五參　**警醒社書店**

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA